



リベレーター[®]

フロアブル

「宣言」

麦づくりを もっと先へ。



麦用除草剤

1年生の広葉雑草から、ジエトロアエリン系やスルホニルウレア系の抵抗性イネ科雑草まで、幅広い殺草力と散布適期で、麦づくりに新たな余裕と可能性を拓く。次世代の麦用除草剤リベレーターで雑草問題から解放し、高品質な麦づくりをサポートします。



500ml

2L



スズメノテッポウ



スズメノカタビラ



カズノコグサ



ネズミムギ



カラスノエンドウ



ノミノフスマ



ナズナ



ヤエムグラ

®はバイエルグループの登録商標

特長

- スズメノカタビラ、スズメノテッポウ (抵抗性*を含む)、カズノコグサなどの1年生イネ科雑草に有効なフルフェナセットと、キク科、タデ科、ナデシコ科などの1年生広葉雑草に有効なジフルフェニカンの2つの成分で幅広い殺草スペクトラムを示す新規麦用除草剤です。

*ジニトロアニリン系除草剤またはスルホニルウレア系除草剤に抵抗性を示す、あるいは両系統に複合抵抗性を示す。

- 広い散布適期幅を有し、麦は種後から麦3葉期 (イネ科雑草1葉期) まで余裕をもって使用できます。
- 長い持続効果が期待できます。

適用および使用方法

(2018年6月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アールあたり使用量		使用回数*	使用方法	適用地帯
				薬量	希釈水量			
小麦	一年生雑草	は種後 ～麦3葉期 (雑草発生前 ～イネ科雑草 1葉期まで)	全土壌 (砂土を除く)	60～80ml	100ℓ	本剤 1回 ジフルフェニカン 1回 フルフェナセット 1回	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	全域 (北海道を除く)
大麦 (秋播栽培)								

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

適用時期

除草剤	作物	地域	処理時期：麦(雑草)の生育ステージ				
			は種後(発生前)	出芽揃い(発生始)	1葉期	2葉期(発生揃い～)	3葉期(イネ科1葉)
リベレーター フロアブル	小麦	全地域	■	■	■	■	■
	大麦	東北以南	■	■	■	■	■

注意事項

- 本剤は雑草の発生前からイネ科雑草1葉期まで有効なので、時期を失ないように散布して下さい。
- 砕土、整地は丁寧にを行い、覆土深が2～3cmとなるように細かく砕いた土を用いて丁寧に覆土を行って下さい。
- 砂質土壌での使用は、薬害を生じるおそれがありますのでして下さい。
- 根雪前の火山性土(黒ボク土等)での使用は、薬害を生じるおそれがあるので、事前に薬害の有無を確認し、薬害を生じた場合には使用をさせて下さい。
- 大麦の出芽揃期の使用において、高薬量では薬害を生じる場合がありますので注意して下さい。
- 水田裏作の麦類に使用する場合、排水不良田等土壌がしめりすぎていると砕土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがありますので、過湿状態での使用はさせて下さい。
- 処理後に大量の降雨が予想される場合は使用をさせて下さい。
- 本剤の使用により麦の葉身に白化や黄化等が見られる場合がありますが、その後出てくる葉には認められず回復します。
- 散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害を生じるおそれがありますので、散布の際には隣接作物にかからないように注意して下さい。特に風の強い時の使用はさせて下さい。
- 本剤を散布した圃場で後作物を栽培する場合には、耕起を十分に行って下さい。
- 本剤散布に用いた器具類は、タンクやホース内に薬液が残らないよう使用後できるだけ早く水でよく洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないように注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日を除く

(F-3219 18.06.15)